

日本発達心理学第31回大会開催について

日本発達心理学会代表理事・氏家 達夫
第31回大会委員長・南 徹弘
第31回大会副委員長・内山伊知郎

冠省

日本発達心理学会第31回大会を、「大会は成立したものとしますが、開催期間に会場には参集しない」という措置をとらせていただきますことを会員の皆様にご了解いただきますようお願い申し上げます。

これまで日本発達心理学会第31回大会HPにてお示してきましたように、当初、様々な予防の対策を行った上で、予定どおりの開催を考えておりました。ところが、先般の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」や「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の具体化に向けた専門家の見解」さらには、26日に行われた「新型コロナウイルス感染症対策本部」における大規模イベントの中止・延期・縮小という総理の要請発言を受け、再考することといたしました。

我が国は、国内で急速に感染が増えてしまうかどうかの瀬戸際にあるようです。屋内などで、お互いの距離が十分にとれない状況で一定時間いることが、感染リスクを高めるといわれておりますが、大会における研究発表や討議は、まさにそのような状況にあるといえます。また、大会を開催することで感染が拡大する危険性もありますので、31回大会についてはまことに心苦しいのですが、全ての企画・発表について、冒頭にお示したように「大会は成立したものとしますが、開催期間に会場には参集しない」という措置をとることといたしました。

会員のみなさまにおかれましては、大会に参加するためにこれまで様々なご準備をされてこられたことと思えます。このような決定により、大変ご面倒、ご不便をおかけいたしましたことお詫び申し上げます。今般の状況を鑑みまして、このご連絡が遅れましたこととあわせて、何卒ご寛恕のほどお願い致します。皆様のご協力とご尽力に心より感謝申し上げます。

なお、大会そのものは成立であること、既に発表論文集の作成などかなりの経費を使っており、また今後各種キャンセル料などが発生することから、お納めいただいた大会参加費はお返しできません。

会員の皆さまには、今後とも十分に予防措置をとっていただき、感染リスクの低減に努められますようお願いいたします。

以上、ご報告とお願いを申し上げます。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

草々